

# 平成27年度 社会福祉法人かながわ黎明会 事業報告書

平成27年4月、3年ぶりの障害福祉サービス報酬改定及び障害者総合支援法の一部見直しがありスタートとした。また、社会福祉法改正案は混乱を経て1年がかりの平成28年3月末日に可決成立となった。

改正社会福祉法では、社会福祉法人制度等の改革として、1. 経営組織のガバナンスの強化、2. 事業運営の透明性の向上、3. 財務規律の強化、4. 地域における公益的な取組を実施する責務、5. 行政の関与の在り方、6. 社会福祉施設職員等退職手当共済制度の見直しについて、平成28年4月1日と平成29年4月1日に施行期日を分けて定めている。今後は具体的な政省令の発出を待ってこの改正法に対応していくことになる。確実な対応はもとより、我々はどちらを向いて仕事をしなければならないかを常に心したい。

このような社会情勢の中、支援現場の多様化する利用者ニーズに丁寧に対応することを基本に取り組んできた平成27年度法人事業運営状況について次のとおり報告するものである。

## 1. 実施事業

No	事業所名	事業内容
1	くりのみ学園	障害者支援施設 施設入所支援(定員30・現員30名) 生活介護(定員35・現員35名)
2	くりのみ学園短期入所	短期入所(併設型、定員7名)
3	くりのみ園	障害福祉サービス事業所 生活介護(定員10・現員13名) (多機能型) 就労継続支援B型(定員10・現員10名)
4	くりのみ生活ホーム +10/1 サテライト型住居・夢人	共同生活援助(介護サービス包括型、定員4・現員4名、 サテライト型住居 定員1名)
5	地域相談支援センターくりのみ 緑障害者相談支援キーテーション	基本相談支援 + 計画相談支援、地域相談支援事業(地域移行、地域定着支援) 受託事業、相談支援専門員1名専従出向(3/31 終了)
6	くりのみ学園短期入所	地域生活支援事業 ~日中一時支援事業(定員2名)

## 2. 事業結果

- ① 平成27年7月16日付け任期満了に伴う役員改選にあたり、宮内 眞評議員が一身上の都合により退任、新しく小侯直志評議員が選任された。3期6年に渡り評議員を務められた宮内氏に謝意を表した。他役員は再任され、互選により小野寺康雄理事長が重任、職務代理人として佐竹 敬理事、青木恒也理事が指名された。また、平成28年3月31日付けで津久井やまゆり園長を退任される小林 均理事・評議員に代わって、4月1日付けで園長に就任される入倉かおる氏が新理事・評議員として選任された。
- ② 相模原市相談支援体制確立のため平成26年4月に設置された官民連携の緑障害者相談支援キーテーションへ、平成27年度も相談支援専門員1名を専従出向させ、緑区内の困難相談事例の対応にあたった(受託費690万円)。平成28年3月31日をもって2年間の出向終了とした。
- ③ 平成27年4月より新会計基準へ移行し、様々な変更にも戸惑いながらも今回初めて新会計基準による決算報告を実施することができた。また、平成28年1月からのマイナンバー制度にも適宜対応している。
- ④ 平成26年10月出生した短期入所利用者(女性23才)が平成27年10月23日より乳児を連れ行方不明となった。その後知り合いの男性と一緒に宮城県古川駅周辺に所在が判明、毎週1回古川駅前郵便局留にて生活費を現金書留で送付し連絡維持に努めた。12月22日宮城県栗原市若柳警察署で保護、翌日引き取りに出向いた。1月に入ってこの利用者の異父兄が接触してきて、結局1月28日利用者は東京在住のこの兄と同居、乳児は相模原市児童相談所の介入により里親に預けられることとなった。軽度障害者への対応の難しさを痛感した。
- ⑤ 入所利用者(男性65才)、高熱が続くため11月20日相模原赤十字病院内科入院、検査により誤嚥性肺炎によるものと判明、抗生物質投与も治癒せず、唾液も誤嚥する状態のため、経鼻経管栄養と常時の痰吸引が必要となる。胃ろうも検討されたが造設困難、常時医療的ケアが必要な状態のため2月16日ふじの温泉病院療養病棟へ転院、くりのみ学園入所利用終了となる。施設支援の限界を感じる事となった。
- ⑥ くりのみ生活ホーム利用者(男性48才、精神障害)のご希望により、一人暮らしへの移行段階として平成27年度から制度として認められたサテライト型住居の指定を緑区日連562-1-203のアパート1室で受け10月1日より移行、一人暮らしへの支援を開始した。本体くりのみ生活ホームには、母逝去による在宅生活困難で短期入所ですつないでいたくりのみ園通所利用者(男性65才、藤野在住)が入居した。

- ⑦ 厚生労働省の職場定着支援助成金(介護福祉機器等助成)を神奈川労働局職業対策課へ申請、113.4万円の助成を得て、12月1日セイコー手動式入浴リフト SGBL-HRⅢC2 型の設置工事(226.8万円)を完了した。入所利用者高齢化に伴う、入浴時の利用者安全確保及び職員の身体的負担軽減に寄与するものとなった。また5月には2階女性トイレイレブスを車椅子利用しやすいように一部改修工事を行った。
- ⑧ 6月4日相模原市保健衛生課の立入検査において、上水道の残留塩素濃度が基準値に達していないとの指摘を受け、8月12日くりのみ学園及びくりのみ園の貯水タンクに上水道自動滅菌装置(自動塩素投入機)を設置(各46万円)し対応した。
- ⑨ 6月25日、日本財団の社会貢献自動販売機「夢の貯金箱」を玄関横に設置、飲料1本購入につき10円の寄附金が日本財団入る形で協力した。
- ⑩ 短期入所事業延利用日数2,102日/年、日中一時支援事業622回(うち児童3回)を実施し、地域ニーズに対応した。
- ⑪ 南房総鴨川宿泊旅行を10月8日(木)～9日(金)実施、総勢105名で鴨川ホテル三日月に宿泊。今回は利用者の高齢化・重度化対応策として、2台の観光バスの内1台は「海ほたる」から「四季の蔵」(昼食)経由でホテルへ直行(ホテルでゆっくり組)、もう1台はマザー牧場見学・昼食後ホテルへ(はりきり組)に分かれて行動した。
- ⑫ 6/6スポレク大会、8/7納涼祭、12/18クリスマス会、3/5しいたけ祭の定例行事を無事実施した。10/29には今年度初めてくりのみ学園主催で童謡歌手・雨宮知子さんのふれあいコンサートを藤野芸術の家ホールで開催、他事業所も招待し交流した。その他、地域行事及び他事業所行事へも積極的に参加し交流を深めた。
- ⑬ 職員確保のため、ハローワーク登録はもとより、学校関係求人票送付、新聞折込求人広告、神奈川県社会福祉協議会の福祉人材センターサイト「福祉のお仕事」事業所マイページへの求人票登録、相模原市社会福祉事業団主催「障害福祉のしごと相談会」(9/25 橋本・社のホールはしもと)への出展、相模原市学生・新卒未就職者等就労支援事業の2回の就労マッチング交流会(9/30 及び 11/30)にて延50名と面談等の活動を行った。交流マッチングにより4大新卒男性生活支援員1名を採用することができたが、不足している女性常勤生活支援員補充が叶わず募集を継続している。
- ⑭ 福祉・介護職員処遇改善加算平成27年2月・3月分(981907円)を対象職員27名に対して平成27年6月の期末手当に併せて支給。平成27年4月～平成28年1月分加算総額8,663,328円(うち550,000円は法定福利費増加分の一部に充当)を対象職員28名に対して平成28年3月期末手当に併せて支給した。対象外職員についても自主財源により同基準で支給した。
- ⑮ ネットさがみはらオンブズマン相談(10回/年)の継続、職員会議等で人権擁護内部研修を継続的に実施し、職員の利用者権利擁護意識向上に努めた。自己研修で相模原市社会福祉事業団松が丘園主催の権利擁護研修4回シリーズに3～5名の職員が毎回参加し学びを深めた。

### 3.役員会の開催

期日	議題等		場所	出席者
05/21	監事監査		くりのみ学園 園長室	監事:大塚、中島、理事等:小野寺、今井、長谷川事務員
05/27	評議員会 理事会	平成26年度事業・決算報告、監事監査報告、平成27年度貸借対照表開始残高の設定、他	プロミティ厚木ビル8F会議室	評議員:12名出席(高野氏欠席) 理事:小野寺・佐竹・安田・青木・小林・今井 監事:大塚・中島
07/15	評議員会 理事会	理事監事選任案・同意、評議員選任案、苦情解決第三者委員選任案、理事長互選、職務代理人指名	プロミティ厚木ビル8F会議室	評議員:10名出席(佐竹 敬・鈴木・佐竹泰三氏欠席) 理事:小野寺・佐竹・安田・青木・小林・今井 (佐竹氏は書面表決) 監事:大塚・中島
11/27	評議員会 理事会	平成27年度第1次補正予算書案、手動式入浴リフト設置、事故報告、上半期運営概況報告、他	プロミティ厚木ビル8F会議室	評議員:12名出席(後藤氏欠席) 理事:小野寺・佐竹・安田・青木・小林・今井 監事:大塚・中島
03/25	評議員会 理事会	平成27年度第2次補正予算案、平成28年度事業計画・当初予算案、理事・評議員一部改選案、苦情解決委員会報告、他	プロミティ厚木ビル8F会議室	評議員:13名出席 理事:小野寺・佐竹・安田・青木・小林・今井 監事:大塚・中島